

新会長挨拶

設立 20 周年を迎えて

会長 野田 巖
(国際農林水産業研究センター)

この度、露木前会長からバトンを引き継ぎ、森林 GIS フォーラム第 11 代会長を務めることになりました。

このフォーラムは平成 6(1994)年 4 月に、森林 GIS に関する産学官の交流の場として設立されたので、今年で設立 20 周年を迎えます。ニューズレターに記された歴代会長挨拶でこの 10 年を振り返ると、創設当時の懸案だった都道府県での森林 GIS のシステム導入状況は、平成 16 年度に 13 県が未導入だった(第 6 代阿部会長)、15 周年となる平成 21 年には全入時代を迎えた(第 8 代松村会長)。今や導入問題がひと段落するに際して、露木前会長は森林 GIS が本来の役割を十分果たしているかどうかの問いを投げかけながら、GIS の利用価値が単に地図を清書するのではなく各種地理情報から新たな情報を作り出すことにあることを強調しています。私も同感です。導入したものの、せっかくの多様で便利な機能が利用されていないことのないように、そして、こんな機能があったらいいのに…、というような切磋琢磨な情報交換の場として森林 GIS フォーラムがお役に立てるようにして参りたいと思います。

私が GIS を使い始めたのは 1990 年頃ですが、最初の主な目的は地形や人口分布を用いた被視頻度分析の自作 Fortran プログラム用のデータセットを作成するためでした。今では、比較的普通に搭載されるようになった可視領域解析機能で解決できるものですが、当時は苦労したのを覚えています。GIS のソフト的機能増進を示す例と言えるでしょう。一方、ハード面では 20 年程前はパソコン用のハードディスクがせいぜい数十 MB でしたが、今では小さな USB メモリで数十 GB の情報を持ち歩くという、ギガ、テラの時代に進歩しました。それを背景に森林 GIS についても、散在する森林関連情報を次世代情報処理技術のクラウド技術によって効率的かつ安全に利活用しようとする林野庁事業が中盤に差し掛かってきました。

当フォーラム活動の中心となります「地域セミナー」、「東京シンポジウム」では、森林 GIS フォーラム設立 20 周年という節目に当たるといことで、情報のクラウド化のようなホットな話題を取り上げるだけでなく、節目を記念する趣向も予定しております。また、次世代養成のための「学生フォーラム」の一層の充実化を図るなど、実りある活動としたいと思っておりますので、粟屋副会長をはじめ、今年度から新体制となった鹿又事務局長、宮本会計担当の事務局、そして賛助会員、地区委員ならびに会員の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

森林 GIS フォーラム 2014 年度 第1回運営委員会開催記録

日時:2014 年 5 月 7 日(水) 13:00-15:00
 場所:東京大学農学部 7 号館 B 棟 733-734 号室

次第

1. 開会の挨拶(露木 10 期会長)

(報告)

2. 2013 年度 活動報告
3. 2013 年度 会計決算・監査報告
4. 2013 年度 会員の入退会報告

(議題)

5. 2014 年度 活動計画案
6. 2014 年度 会計予算案
7. 2014-2015 年度 運営体制案
8. その他

9. 話題提供(鹿又 11 期事務局長)

10. 閉会の挨拶(野田 10 期副会長/11 期会長)

出席者名簿

敬称略

10 期会長	露木 聡	東京大学
10 期副会長 11 期会長	野田 巖	国際農林水産業研究センター (森林総合研究所)
10 期事務局長	広嶋 卓也	東京大学
10 期事務局(会計)	三浦 直子	東京大学
11 期副会長	粟屋 善雄	岐阜大学
10 期関東地区委員 11 期事務局長	鹿又 秀聡	森林総合研究所
11 期事務局(会計)	宮本 麻子	森林総合研究所
10 期関東地区委員	中島 徹	東京大学
	北野 喜彦	林野庁
	中村 昌有吉	林野庁
賛助会員	高橋 一之, 菊池 譲	株式会社 パスコ
	弘瀬 達夫	国土地図 株式会社
	中村 尚	パンフィックコンサルタンツ 株式会社
	横山 猶吉, 大場 誠	東京スポーツイマージュ 株式会社
	吉田 城治	一般社団法人 日本森林技術協会
	勝部 圭一	北海道地図 株式会社

2 [報告]2013 年度活動報告

2.1 ニュースレターの発行

Vol.54(2013 年 6 月), Vol.55(2014 年 1 月), Vol.56(2014 年 3 月),
Vol.57(2014 年 4 月) を発行 (別紙)

2.2 岐阜県地域シンポジウムの開催

「森林管理に高精度森林情報は活かせるのか」

2013 年 12 月 10 日(火) 13:00-17:00 ソフトピアジャパン

参加者約 100 名(産 45, 官 28, 学 20 + α)

講演一覧

栗屋 善雄(岐阜大学 流域圏科学研究センター)

「リモートセンシングによる高精度森林情報と GIS による森林管理」

宮坂 聡(中日本航空株式会社)

「航空測量に基づく高精度森林情報提供の可能性」

國枝 ますみ(岐阜県 林政部林政課)

「森林情報の精度向上と共有化に向けた岐阜県の取組み」

大洞 智宏(岐阜県 森林研究所)

「高精度森林情報を森林経営計画作成・実行の支援に“活かす”」

戸田 堅一郎(長野県 林業総合センター)

「航空レーザ測量データを用いた CS 立体図(微地形図)の活用
—長野県の取組み—」

賛助会員による話題提供, デモンストレーション

株式会社パスコ, パシフィックコンサルタンツ株式会社,

一般社団法人日本森林技術協会, 東京スポットイメージ株式会社

2.3 東京シンポジウムの開催

「森林の 3 次元計測が果たす境界確定 GIS」

2014 年 1 月 28 日(火)13:00-17:00 東京大学農学部弥生講堂アネックス

参加者 約 90 名(産:約 40, 官:約 30, 学:約 20)

講演一覧

川村 竜哉(林野庁 計画課)

「森林 GIS 関連予算について」

大萱 直花(一般社団法人日本森林技術協会)

「空中写真解析ソフト【もりったい】～過去写真の立体視を活用する～」

小澤 洋一(岩手県林業技術センター)

「森林 GIS の普及に向けて～技術研修の現場から～」

稲葉 伸二(株式会社みるくる)

「三次元データの, 計測及びその利用手法の最新技術例」

中北 理(森林総合研究所)

「空中写真のステレオ化がもたらす森林管理法
—3D による境界確定と林分計測—」

賛助会員による話題提供

パシフィックコンサルタンツ株式会社, 株式会社パスコ

賛助会員によるデモンストレーション

パシフィックコンサルタンツ株式会社, 一般社団法人日本森林技術協会,
株式会社パスコ, 東京スポットイマージュ株式会社

2.4 学生研究コンテストの開催

2014年3月27日(木)18:00-19:45 大宮ソニックシティ

参加者 19名(産:1, 学:18)

発表一覧

部門①卒業論文の研究

今坂圭佑(信州大学 農学部)

「GPS カメラを用いた木質資源認証手法の検討」

志水克人(九州大学 農学部)

「カンボジア熱帯季節林における空中写真を用いたバイオマス推定」

安藤祐樹(千葉大学 園芸学部) * 優秀賞

「簡易型地上レーザーを用いた毎木調査」

阿部葉月(千葉大学 園芸学部) * 優秀賞

「森林構造の解析を用いたエゾリス(*Sciurus vulgaris orientis*)の
HSI モデル作成」

部門②修士論文の研究

菊島浩貴(東京大学大学院 農学生命科学研究科)

「スマートフォンとレーザー距離計を組み合わせた森林調査のアプリケーション開発」

萩原晟也(名古屋大学大学院 生命農学研究科) * 優秀賞

「波形記録式航空機 LiDAR による森林の質的情報の把握
～解析スケールの違いによる樹種分類精度への影響～」

白澤紘明(京都大学大学院 農学研究科)

「路網配置, 架線配置, 原木輸送に関連する森林作業計画のモデル化とシミュレーション」

3 [報告]2013年度会計決算・監査報告

別紙のとおり

4 [報告]会員の入退会

4.1 賛助会員

新たな入退会なし

4.2 一般会員

2014年5月2日現在 199名: 2013年5月7日時点 188名より11名増

5 [議題]2014 年度活動計画案

5.1 地域シンポジウム

未定

5.2 東京シンポジウム

2015 年 2 月 4 日(水)東京大学農学部弥生講堂アネックスにて開催予定

5.3 学生研究コンテスト

2014 年 3 月 森林学会大会(北大)の関連集会として開催予定

5.4 ニューズレター

3 回の発行を予定

Vol.58(2014 年 12 月), Vol.59(2015 年 2 月), Vol.60(2015 年 4 月)

6 [議題]2014 年度会計予算案

別紙のとおり

8.2 運営委員について

2012 年度運営委員

7. [議題]2014—2015 年度 運営体制案

会長	野田 巖	国際農林水産業研究センター(森林総合研究所)
副会長	栗屋 善雄	岐阜大学
事務局長	鹿又 秀聡	森林総合研究所
事務局(会計)	宮本 麻子	森林総合研究所

地区委員及び会計監査については調整中

8. その他

規約について現状と合わない事項も出てきたこと、また、現在の規約では郵便局等の通帳作成できないことが多いため、規約の修正についても検討していくこととした。

新規の賛助会員について、申請フォーマットを作成することとした。

今年度は森林 GIS フォーラム設立 20 周年にあたることから、2 月の東京大会では記念イベントの開催検討していくこととした。

9. 話題提供(鹿又 11 期事務局長「森林 GIS に関する私の取り組み」)

10. 閉会の挨拶(野田 10 期副会長/11 期会長)

森林 GIS フォーラムの組織

運営委員会は官学の代表からなり、会長、副会長、事務局、地区委員から構成されます。フォーラムの活動方針や内容は賛助会員の出席のもと、運営委員会で討議され決定されています。

役員

会長	野田 巖	国際農林水産業研究センター(森林総合研究所)
副会長	栗屋 善雄	岐阜大学
事務局長	鹿又 秀聡	森林総合研究所
事務局(会計)	宮本 麻子	森林総合研究所

地区委員

北海道	菅野 正人	北海道立林業試験場
東北	小谷 英司	森林総合研究所東北支所
関東	横山 直人	林野庁計画課
関東	中島 徹	東京大学
関東	高橋 正義	森林総合研究所
中部	斎藤 仁志	信州大学
関西	長島 啓子	京都府立大学
中国	米 康充	島根大学
四国	松岡 真如	高知大学
九州	加治佐 剛	鹿児島大学

会計監査	三浦 直子	東京大学
------	-------	------

賛助会員について

森林GISフォーラムをサポートしていただいている賛助会員は以下の6団体です。

- 株式会社パスコ
- 国土地図株式会社
- パシフィックコンサルタンツ株式会社
- 東京スポットイマージュ株式会社
- 一般社団法人日本森林技術協会
- 北海道地図株式会社

森林GISフォーラム
ニューズレター Vol. 58
発行日 2014年9月
編集人 鹿又秀聡
発行人 鹿又秀聡

森林GISフォーラム事務局
〒305-8687
茨城県つくば市松の里1 森林総合研究所 内

E-mail : info @ fgis.jp
ホームページ : <http://www.fgis.jp/>